

## (臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

### [研究課題名]

糖尿病患者における電話診療の影響に関する検討

### [研究責任者]

糖尿病・代謝内科 片山晶博

### [研究の背景]

2020 年 1 月以降、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) が世界中で拡大し、日本においても感染が拡大しています。また、岡山県においても COVID-19 の患者さんが急増し、2021 年 5 月 16 日から緊急事態宣言が発令されました。

このような緊急事態のもとで、電話診療を含む遠隔診療に注目が集まっていますが、国内における保険診療制度における糖尿病患者さんに対する最適な診療形態は不明です。電話診療は患者さん、医療従事者の負担を軽減する可能性はありますが、一方で血糖コントロールに及ぼす影響は現状では明らかになっていません。今後の日本における糖尿病患者さんに対する最適な診療形態を検討する上でも、糖尿病患者さんにおける電話診療の影響について検討が必要と考えられています。

### [研究の目的]

岡山県では COVID-19 患者の増加に伴い、2021 年 5 月 16 日から 6 月 20 日の期間、緊急事態宣言が発出されました。これに伴い、当院においては外来患者さん同士の感染リスクを抑えるため一般外来体制の縮小を目的とし、電話による再診を行いました。糖尿病患者さんにおいては、電話診療を行うことで血糖値や HbA1c 値の確認のための血液検査が実施できませんでした。糖尿病患者さんにおける電話診療の影響については明らかでなく、電話診療が血糖管理などに及ぼす影響について評価、検討し、電話診療が適切かどうかにつき解明することを目的としています。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さん

2020 年 1 月 1 日以降で当院の糖尿病・代謝内科に通院中で、緊急事態宣言前後も定期通院を継続している方。

#### ●研究期間

臨床研究審査委員会承認後から西暦 2022 年 5 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：利用しません

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、併存疾患、治療内容、入院期間、  
検査結果（血液検査、尿検査、画像検査）

●情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構岡山医療センター

糖尿病・代謝内科 片山晶博

住所：岡山市北区田益 1711-1

電話：086-294-9911 FAX：086-294-9255